

『ミカンバエ防除対策について』

防除対象品種

温州みかん、小みかん、ポンカン、キンカン、はるみ等

※産卵期(夏季)の果皮の厚さが概ね4mm以下なら上記品種以外でも要防除！

ねらい・時期・使用薬剤

①防除の基本は「モスピランSL(液)」(幼虫防除)2回散布!!

7月中旬～7月下旬(幼虫防除) **モスピランSL液剤 2,000倍**

8月中旬～9月上旬(幼虫防除) **モスピランSL液剤 2,000倍**

※収穫開始時期と混用薬剤の使用時期を考慮して散布時期を決める。

例) 11月下旬から収穫を開始する年末贈答品種(太田ポンカン等)に、使用時期90日のジマンダイセン(水)、ペンコゼブ(水)を混用する場合、2回目の散布時期は8月中旬。

②被害果の早期摘採・処分…健全果の着色開始前から実施

【被害果の特徴】

- ・着色が早い
- ・へたの周りが赤い
- ・まだらな色づき
- ・落果しやすい



着色が早い

健全果

まだらな色づき

へたの周りが赤い
落果しやすい

防除対策のポイント

- ① 山際・防風林際の日当たり環境改善！
日当たりの悪い場所はミカンバエの生息に適しており、被害が発生しやすい。
- ② 樹高の切り下げ・枝抜きの実施！
樹冠上部や内部まで薬液が届かなければ、十分な防除効果は得られない。
- ③ 樹の周囲をまわりながらムラなく、いねいに散布！
片側からの散布では反対側まで薬液が届かず、散布ムラが発生する。

自分で防除できない場合は…

- ① 知人に頼む。病気や高齢で管理できなくなった樹を伐採する事業があります。
詳しくは下記お問い合わせ先までご相談ください。
- ② 被害果は、水漏れしない厚手のビニール袋(肥料袋等)に密封して果実を腐らせるか土中に埋めて50cm以上覆土する。

お問い合わせ先

大分市役所生産振興課園芸担当班: 097-537-5770

大分県中部振興局生産流通部園芸第一班: 097-506-5764